

子どもたちの
放課後の居場所

放課後児童クラブって どんなところ？



小学生の放課後の居場所として、横浜市には、放課後キッズクラブ、放課後児童クラブ、特別支援学校はまっ子ふれあいスクールなどがあります。

その一つである放課後児童クラブは、学校が終わってから過ごす、放課後の子どもたちの遊びと生活の場です。「放課後児童クラブってどんなところ?」「誰でも利用できるの?」初めて利用を検討する人はわからないことや不安な気持ちもあるかもしれません。

今回は青葉区にある放課後児童クラブの一例として「桂台学童保育ちびっこの家」取材しました。

○放課後児童クラブ（学童保育所）とは？

放課後児童クラブとは、民間施設が運営する、児童の遊びと生活の場です。一軒家や集合住宅などの民間施設に設置され、就労などにより、昼間や放課後の時間帯に保護者がいない児童を対象に、遊びと生活の場を提供するために実施されています。開所時間や利用料などはクラブによって異なります。

○放課後キッズクラブとの違いは？

放課後キッズクラブは、小学校施設を活用して横浜市が実施している事業です。子どもたちを対象に「遊びの場」を提供すること、留守家庭児童を対象に「生活の場」を提供することを目的に実施しています。全ての小学校に設置されています。利用可能な日や時間、料金は利用区分によって異なります。

○子どもたちの過ごし方や放課後児童クラブの雰囲気・特徴は各クラブによって違う

子どもたちは、放課後どのような過ごし方をしているのでしょうか。「桂台学童保育ちびっこの家」の放課後の様子を見せてもらいながら、放課後児童クラブの小学生の過ごし方を見てみましょう。

放課後児童クラブの1日 ～平日の放課後編～

時間	内容	写真
放課後～	学校が終わった子どもたちが放課後児童クラブへ。宿題をしてから、自由遊びの時間。	

16:00～	おやつの時間。おやつは手作り。 アレルギーのある子どもは入所時に確認し個別に対応 あそびのオリンピック（みんなでけん玉等にチャレンジしていました！）	
--------	--	--

16:30～	外遊び。	
17:30	1年生から6年生までチーム分けをして目の前の公園でドッジボール！公園まではみんなで移動します。途中で帰る予定の子はランドセルを持って移動。	



盛り上がるドッジボール。



その後は自然にみんなが集まり、「つぎ何する～？」
「かわり鬼～！」。ほかにも遊んでいるグループがあったので、上級生が「あんまり遠くに行かないでね～」と逃げる範囲にも配慮。指導員とサッカーをしたりおしゃべりをしたり、じゃれあったり。仲の良さが伝わってきます。



時間になったら途中で帰る子も。指導員が声をかけて見送ります。時間は指導員が曜日ごとに把握しているそうです。



暗くなるまで思い思いに過ごす。

ひととおり遊びが終わるとまた自然に合流。列になって放課後児童クラブへ戻ります。



17:30~

到着したらまず手洗い・うがい。

18:00

帰りの時間までコマ&けん玉の練習に取り組みます。子どもたちの集中力のすごいこと！

そしてここでも上級生が下級生を思いやっている様子がたくさん見えました。

途中で卒業生も来所。卒業してもつながりがあるって素敵ですね。



18:00

帰りの時間。指導員も帰りの声かけをします。みんなそれぞれ自分の棚にコマやけん玉を片付けてから、帰りの支度。一人で帰る子、家が近くの子と帰る子、きょうだいで帰る子、迎えを待つ子などいろいろ。みんな気をつけて帰ってね！



【質問コーナー】

※以下質問への回答は桂台学童保育ちびっこの家の場合です。放課後児童クラブによって定員など異なりますので、詳しくは各施設にお問合せください。

Q.放課後児童クラブは希望すれば誰でも入れるのでしょうか？

A 就労宅・留守宅の支援が基本です。桂台学童保育ちびっこの家は定員 50 名。ニーズがあり空きがあれば入ることができます。(R5年1月現在は 40 名程度) 一時預かりはなく、定期のみです。

Q.長期休み中も開所していますか？

A

・「桂台学童保育ちびっこの家」の長期休暇中はとっても魅力的！ 週 1 で遠足に行きます。こどもの国へ行ったり映画を見に行ったり。公共交通機関を使い、社会のマナーや他者への思いやりを学ぶ機会にもなります。
・夏期休暇中のハイライトは父母が企画するキャンプ。キャンプ本番 1 ヶ月前には鉄町でも行います。親が自分以外の子ともガッツリ関わるのが魅力。家族の次に近い存在になります。お祭りもやります。子どもたちが模擬店を出し、稼いだお金でおもちゃを買います。どんなおもちゃを買うかは自分たちで考え、会議で子どもたちが決めます。大事なおもちゃなので大事に使っています。

Q.新1年生の入学式前から利用できますか？

A 4月1日から利用可能です。学校が始まるまでは保護者に送迎をお願いしています。保護者にとって支援員とコミュニケーションをとるチャンスです。少しずつ子どもが慣れてきたら支援員が学校へ迎えに行きます。子どもたちだけで行けるようになってきたら支援員は陰で見守ることもあります。段階的に子どもたちが自分で行けるようになるまでサポートしています。

Q.習い事・通院等、外出は可能ですか？

A 外出は可能です。習い事のある子はランドセルを置いて行き、また戻って来る子もいます。

※取材中も途中で時間になったら帰る子、保護者が迎えに来る子など。キッズと併用している子もいました。

Q.親子で参加する行事はありますか？ 親同士のつながりは？

A 月1回父母会があり、つながりもできます。入所2年目の保護者は全員役員になります。わたしもつながりができました。子どもの未来、環境をよくしていきたい人たちが関わっていると思います。

Q.どんな子ども、保護者が利用していますか？

A

・遊びや体を動かすことが好きな家庭に向いていると思います。
・年度途中でも見学・体験を受け入れています。(電話・メールで問合せ)。説明会以外の日や平日も見学できます。今年は6、7、10、11、12、1、2月に説明会を実施しています。



Q.異学年の関わりもありますか？

A 「桂台学童保育ちびっこの家」は異学年の関わりが魅力です。第二の家族のような存在で、日常的に子ども同士や指導員との関わりが多くあります。

※現在は1年生8名、2年生13名、3年生5名、4年生4名、5年生3名、6年生3名。上級生は頼りに

なる存在です。下級生が慕っているのがとても伝わってきました。一人で過ごしたい子、まだ慣れていない子には一人一人を尊重しながら学童での過ごし方や集団生活に慣れるように促していくそうです。だんだん上級生への憧れが強くなっていくとおっしゃっていました。



Q（指導員さんへ） お子さんとのどのように関わっていますか？

A 一人一人性格も違うのでその子に合わせて声かけを変えるなど対応を工夫しています。

Q（利用されている保護者へ） 放課後児童クラブを選んだ基準は何ですか？

A 自宅から近かったことが決め手です。長い時間・遅くまで子どもが過ごすことができる。

「桂台学童保育ちびっこの家」は親が積極的に運営に関わっています。

子どもと一緒に育っていくように感じる場所がいいと思います。



Q（1年生女の子へ） どんな遊びが好きですか？

A （にこにこしながら）おにごっこです。

見学してみよう！ 放課後児童クラブ

いかがでしたか？ 今回桂台学童保育「ちびっこの家」取材して、ホームページで見ていた以上の、子どもたちの楽しそうな様子、指導員との家族のような関わり、アットホームな施設の雰囲気を感じることができました。青葉区にもいろんな放課後児童クラブがありますが、それぞれに特色やカラー、指導員さんや施設の魅力、親子の相性などがあるかと思います。まずは実際に足を運んで見学し、雰囲気や利用のしやすさなど確認しながら親子に合った場所を見つけられるといいですね。